



# ワニコイン・ スクール通信

NPO法人 アジア教育友好協会

〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F

電話 03(6426)0720 /FAX 03(6426)0721

<http://blog.canpan.info/aefa/>

## ポント小 完成間近です！！ いよいよ2月12日開校式！！



2/12には、ワンコインPJ共同発進校である、  
仙台市立広瀬小学校菊地校長先生が列席され、  
開校式が行われます！



ポントンの子どもたちも、日本の友だちに負けなよう、  
木の根を掘り出すなど、校庭整備に汗を流しました。



仙台市立愛子小の6年3組から、開校お祝いのメッセージと、手作りのしおりが届きました！1組&2組さんも、それぞれ取り組みを行っています。広瀬小の6年生も、ポントンプロジェクトを発動。子どもたちが活発に話し合い、冬休みに募金を行ったり、鉛筆を集めたりと、活動しています！



「夢と友情の鐘」を、ポントんに届けます！  
日本のみなさんの気持ちが、鐘の音にのって、響きわたります。

## 手作り木工品でワンコインPJに参加！ ～福井県村岡小学校～

勝山市村岡(むろこ)小学校では、なべしきなど手作りの木工品や、地元の村岡山で集めた石にペイントをして作ったペーパーウェイトなどを、地域の文化祭で販売。その収益金を、AEFA理事長に贈呈しました。このニュースは、2009/12/1の福井新聞に掲載されました。



## 手作り野菜でワンコインPJに参加！ ～相模原市立藤野南小～

藤野南小は、ゆたかな自然に囲まれています。校庭の小高い場所に学校菜園があり、4年生がダイコンやサツマイモを栽培しました。12/2 保護者会の日に、自分たちで育てたダイコンとサツマイモを保護者の方々に販売。この売り上げを、贈ってくださることになりました。みんなの汗とがんばりでできた、貴重なお金です。



## もったいない生活日記でワンコインPJに参加！ ～浜田市立宇野小～

夏休みに各家庭でエコライフに挑戦、全校児童が「もったいない生活日記」をまとめました。その取り組みが評価され、「もったいない生活日記コンクール」から特別記念品として5,000円の文具券をもらうことができました。環境を考えることも、世界に目を広げること・・・との思いから、文具券を換金してワンコインPJに協力。スカイプを通して、子どもたちが報告してくれました。「もったいない生活をするには、水をたくさん使わないようにするとか、電気をこまめに消したりして協力しました。でも、結構大変でした。」





### それぞれの家庭の取り組みで ～ 横浜支部～

家庭での取り組みを続ける横浜支部。

ひなたくんは、おかあさんと話し合っ  
て『仲良しカード』を作り、「お風呂に仲良く一緒に入った」で10円をゲット！

カードは全部で4シート分にもなりました。色々なことを頑張ったり、お手伝いをしました。



### 5年生の手作り米で、ラオスの学校を支援！ ～ 杉並区四宮小～

四宮小5年生は、山梨県忍野村のみなさんの協力で、移動教室等を利用してお米を作りました。子どもたちは米作りを実際に体験することで、食べものが食卓に上がるまでの大変さを知り、食を生活と結びつけ、食べ物を通して「生き方」「考え方」までつなげる、教科書だけでは決して学べないことを得ました。出来たお米は、給食でも食べました。



山岸校長先生（前・品川区立杜松小校長）から、この手作り米270キロをAEFAに寄贈、それを販売することでラオスの小学校建設に役立てて欲しいとの申し出がありました。昨年12/22、四宮小でお米贈呈式が行われました。お預かりしたお米は、AEFA会員様に呼びかけてチャリティ価格で販売しました。ご友人や社内でご紹介いただいたり、みなさまからのあたたかなお気持ちで、おかげさまをもちまして完売いたしました。このお金を、ワンコイン基金として、ポンタン小建設費に充当します。

何よりも大切なことは、子どもたちにとって、米作りを通して様々な方々の関わりと、支えられていることを学ぶきっかけになったことでしょう。汗をかいて作ったお米を自分が食べるだけでなく、ラオスの友だちのために役立てることで、世界を広げると共に、夢と友情を育みます。



### 子どもたち自身が、拡げる活動 ～ 武蔵村山市立第十小～

武蔵村山市立第十小で、「ワンコイン・スクールPJ」の取り組みがはじまりました！！第八小小野江校長先生のご紹介で、「子どもたちに必要な活動、とてもいい取り組みだと思った」と榎尚信校長先生。



10/23、AEFA理事長・谷川と、チーフコーディネーター・佐藤が参加して、6年生を対象に「プロジェクト発会式」が開かれました。現地の様子や、学校が無い・文字が読めない・それによって起こる問題など、スライドやオリジナル教材を使いながら説明。日本全国で活動に取り組んでいる仲間たちの紹介や、「がんばりカード」「がまんカード」「思いやりカード」の紹介を行いました。12月には発会式も行われ、「子どもが拡げる活動」として親善大使が各クラスを訪問して活動紹介するなど、全校で取り組んでいます。



ラオスの友だちとの希望の糸、パーシーの糸を結ぶ

1/18には、第1回目の「ワンコイン認定式」が朝会で  
行われ、早くも31名もの達成者がでました。全校児童の前で校長先生から認定証を渡された子達は、誇らしさでいっぱいでした。

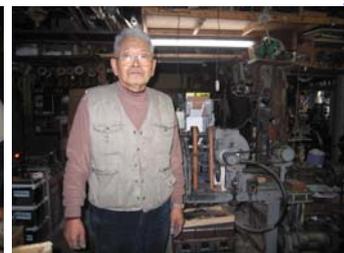
子どもたちは取り組みを通し、お金の重みを実感しています。



### 文房具を贈ろうプロジェクト ～ 仙台市立愛子小学校～

愛子小6年1組は、アルミ缶回収などで得たお金で、ポンタンの友だちに文房具を贈ろうと考えました。一方、東京都荒川区の『前田鉛筆製作所』様より、塗りムラで出荷できなくなった鉛筆を、ご寄贈いただきました。

そこで、1組の子どもたちのがんばりの結晶である貴重なお金で、この鉛筆600本分を買いとる・・という形をとり、そのお金を建設費として充当することに。高品質なのに、塗りのムラだけで廃棄される運命にあった鉛筆が、愛子小の子どもたちのがんばりと気持ちで生まれ変わり、ラオスの友だちに届けられます！！



荒川区マイスターの前田允様